

《事業者向け》令和4年度 放課後等デイサービス自己評価表【集計結果】

事業所名：立川らびっとくらぶ

評価日：令和5年1月 対象：全スタッフ（5名）

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------|----|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 5 | | | 1日の定員10名に対し、活動室は東京都規程による40㎡を確保しています。（児童1名当たり4㎡） コーナー分けや仕切りに工夫し、人数による圧迫感を感じないようにしています。 |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | 4 | 1 | | 今年度は常勤3名、パート4名の計7名での体制。毎日のシフトに入っていますので、曜日でスタッフが変更することがほとんどありません。 |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 5 | | | 出入口、フロアにスロープを設置し、トイレ（2ヶ所）に手すりを設置しています。また視覚情報の軽減という視点から、掲示物などが乱雑にならないように注意しています。 |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 4 | 1 | | 毎月テーマを決めて、月2回の全体ミーティングで話し合いやミニ研修会をおこなっています。 PDCAサイクルの実践としては、振り返りノートを作成し、毎日活動後に記入しています。 |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 5 | | | 年1回実施。保護者の方が回答し易いように、無記名で、保護者からの返信は郵送によるものにしてあります。 |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 5 | | | 平成29年7月以降、らびっとくらぶの公式ホームページ内でアンケート実施後に集計結果をPDFで公開しています。 |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 1 | 3 | 1 | 適切な形態（透明性のあるもの）で有効性のある形であれば、取り入れるつもりですが、現在は予定していません。 |
| 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 5 | | | 月2回の全体ミーティングで行っています。また都主催の研修や、関係機関の研修受講の機会を設けています。今年度もアセスメントのあり方、事例検討など、より実際の支援に役立つ内容を心がけています。 | |
| 適切な 支援の 提供 | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | | | 面談は必ず児童発達支援管理責任者を含むスタッフで対応し作成しています。必要に応じて1～最長でも6ヶ月の期間で見直しを行なっています。 |
| | 10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 5 | | | 療育機関による評価をもとに、発達状況と適応実態を把握しアセスメントを行なっています。引き続き全スタッフがアセスメント技術向上を図れるよう研修を行なっています。 |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 3 | 2 | | 常勤・パート職員を問わず、全員で意見交換をし、季節や発達段階に合わせた活動内容を立てています。 |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 2 | 3 | | 曜日や児童に偏りが無いよう月ごとに遊具の入れ替え、新しい集団ゲームの提供を行なっています。また特性や年齢に応じておこない、一律にプログラムを取り入れておりません。 |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 5 | | | 平日は体面側に配慮をして長時間の外出はしてありません。毎日の日課を大切に活動となっています。長期休みは午前中は室内、午後は近隣に外出と緩急をつけた活動にしています。 |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | | | 特性や年齢、興味に合わせた活動を提供し、小集団での遊びと個別遊びを取り入れています。さらに家庭の様子を聞きながら、計画を立て保護者の方に説明をし作成しています。 |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 5 | | | 支援開始前に30分程度の打ち合わせをしています。前回の状況や送迎時間、体調の情報を共有して、活動中の支援の役割を確認しています。 |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 2 | 3 | | 活動日誌に記入し、全体で共有できるようにしています。活動後でも必要に応じて保護者への連絡をしています。終業後は必要に応じてメールや電話で申し送りをしてもらっています。 |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 5 | | | 活動日誌、個別記録を複数の担当者が記入しています。また定期的に個別記録を読み合わせ、支援の内容について情報共有しています。 |
| | 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 5 | | | 最低でも1年に2回（6ヶ月毎）保護者の方と面談をおこない、必要に応じて個別支援計画を見直しています。必要に応じてモニタリングは随時おこなっております。 |
| | 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 4 | 1 | | 単年度の事業計画を立て、ガイドラインを職員間で閲覧・参照できるようにしています。 |
| | 20 発達段階に合わせた遊具や教材の提供をしているか | 5 | | | 学校や家庭での様子を聞きながら、子ども自身の興味や発達段階をアセスメントし、画一化しないよう遊具などを提供しています。 |

《事業者向け》放課後等デイサービス自己評価表

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|-------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 5 | | | 必ず児童発達支援管理責任者を含め複数で参加するようにしています。 |
| | 22 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 5 | | | 連絡帳、送迎時、電話、FAX、メールを活用した連絡方法を取り、必要な連絡はすべておこなっています。また必要に応じて学校と直接やり取りをしています。 |
| | 23 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 3 | 2 | 1 | 昨年度に続き医療的ケアが必要な児童は受け入れていません。 |
| | 24 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 4 | 1 | | あくまでも保護者を通して連携を申し出ています。また保護者からは就学前のアセスメント表などをご提供いただいて、不明な点は該当する保育所や事業所に連絡をしています。 |
| | 25 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 3 | 2 | | 保護者の要望に合わせて情報提供をするつもりです。また卒業に向けての進路相談や就労相談もおこなっています。 |
| | 26 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 4 | 1 | | 施設公開や説明会、研修会には可能な限り参加をし、担当者との連携に努めていますが、具体的な助言はまだ受けたことはございません。 |
| | 27 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | 5 | 計画的におこなう性質のものは捉えていませんので、近隣の公園などでの自然な交流を心がけています。 |
| | 28 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 3 | 2 | | 定期的な児童部会や放デイ連絡会に限らず、必要な場合は個別に関係団体などに連絡をし、連携に努めています。 |
| | 29 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | | | 毎日の活動の様子を連絡帳やメールを活用、送迎の際にもお話しをして、その日のうちに保護者に伝えております。状況や課題についても逐一報告しております。 |
| | 30 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 4 | 1 | | ペアレント・トレーニングという形ではおこなっていませんが、子どもとの関わり方や環境整備について相談に乗りながら、支援をさせていただいております。 |
| | 31 学校教員と話し合いの場を設けているか | 5 | | | 必要に応じて話し合いの場を設けていただいております。 |
| 保護者への説明責任等 | 32 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 5 | | | 利用契約時に、運営規程や重要事項等は書面でお渡しし、事前によく読んでいただいた上、面談時に口頭でもご説明するようにしております。 |
| | 33 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 5 | | | 利用児童だけでなく兄弟・姉妹の関係についても適宜相談に応じ、関係機関の紹介や専門機関への搬送もおこなっております。 |
| | 34 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 1 | 2 | 2 | 今はコロナの影響もあり周年イベントなど開催できておりませんが、コロナの終息状況を踏まえながら周年イベントや保護者会の開催を計画する予定です。 |
| | 35 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | | | 支援や活動の内容についての疑問点や不明点、または児童の変化に対しては、すべて責任者が迅速かつ即時的に対応しております。 |
| | 36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 5 | | | 保護者に対しては必要に応じて書面でお知らせをしています。また、月1回の子ども向け「らびっつくらぶ通信」の発行をしています。 |
| | 37 個人情報に十分注意しているか | 5 | | | 全スタッフに対して日頃より個人情報の取り扱いについて注意喚起をしています。また個人情報保護の観点から、どう対応するのかが責任者がきちんと判断しています。 |
| | 38 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 | | | メールや文書の残る形で説明やお知らせをすようにし、誤解や行き違いを防ぐように配慮し、出来る限り対面でお話しさせていただいております。 |
| | 39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | 5 | 現在、招待するようなイベントを組んでおりません。 |
| 40 保護者への連絡方法を工夫しているか | 5 | | | 保護者の状況や家庭環境、就労状況により電話やメールでの連絡を活用し、早い対応を心がけています。 | |
| 非常時等の対応 | 41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 4 | 1 | | スタッフ、保護者ともにまだまだ周知が足りないと感じております。冊子またはプリントにて配布を予定しています。 |
| | 42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 5 | | | 児童への影響を考慮、年に1回から2回の避難訓練をしています。基本的には近隣公園への避難誘導と説明のみですが、訓練ごとにスタッフでの反省会を行っています。 |
| | 43 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | | | 定期的に虐待についての討議の機会を設け、市内でおこなわれる虐待研修に全スタッフが参加できるようにしています。また支援は1対1ではなく、複数で対応しています。 |
| | 44 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 3 | 2 | | 身体拘束が必要な子がおりません。どのような形であれ身体拘束、隔離などの対応はいたしません。仮に必要性が生じた場合は、必ず保護者・本人に説明し、その方法を納得のいくものにします。 |
| | 45 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 5 | | | 原則として医師の診断に基づいた保護者からの申し出により対応しております。新たなアレルギーの疑いがある場合は、保護者に受診・検査をお願いしております。 |
| | 46 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 4 | 1 | | いつでも記入できるよう用紙を設置しファイルしており、定期的にその中から事例を取り上げて、ミーティングなどで全体化しています。 |